

IPO銘柄 アビスト (6087・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6087	100 株	公募：45.00 万株 売出：7.44 万株 (OA7.86 万株)	3,250 円～ 3,450 円 (17.4 倍)	SBI 証券

■ 日程



大手自動車メーカーなどを対象に設計技術サービス事業を展開

■ 事業内容

3D-CADを主とした設計技術サービス事業を展開。ハイエンド3次元CADをツールとして機械・機械部品の設計開発やソフト開発を行う設計開発アウトソーシング事業が中心。取引先の要望に応じて、自社で雇用した技術者を派遣、請負（受託型、常駐型）の形態でサービスを提供している。13年3月に子会社アビストH&Fを設立し、水素水の製造・販売、水素関連商材の販売に向けた準備も行っている。13年9月期第3四半期累計（12年10月～13年6月）実績の売上高構成比は、設計開発アウトソーシング事業が99.7%、その他が0.3%。

■ 特徴

取引先はトヨタ自動車<7203>など大手自動車メーカーを中心に200社以上。自動車は1台につき1,000を超える部品が使われており、設計のニーズが大きい。手掛ける分野はランプ、内装、ボディー、電装部品、シャシー部品、空調部品、ハイブリッドカー関連など多彩。自動車以外では電子部品・電子機器や情報処理・ソフトウェアなどのウェーptomも大きい。

アナリストコメント

■ 定量分析

14年9月期の連結経常利益は前期比1.8%減の6億3,700万円を計画する。13年9月期は期末にかけて稼働率が高まって利益が急伸しており、14年9月期はその反動が出る見込み。ただ、需要自体は高水準で推移しており、動向次第では減益を回避する可能性もある。

■ 定性分析

為替市場の円安進行を背景に活況の続く自動車業界を中心に事業を展開しており、業績面への安心感が強い案件と言える。アベノミクスへの期待感から人材関連ビジネスを手掛ける銘柄への株式市場の評価が上昇傾向にあることもポジティブ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は20.8億円。荷持たれ感の意識される水準であるうえ、株主上位にはベンチャーキャピタル保有株もあり、需給面には懸念を抱えている。また、4社同日上場による資金分散でも相対的に影響を受ける可能性がある。（小泉健太）

■ 類似企業

アビスト(6087・JASDAQ)	予想PER17.4倍 (仮条件上限)
夢テクノロジー (2458・JASDAQ)	予想PER25.0倍
メイテック (9744・東証1部)	予想PER22.4倍

■ 引受証券

SBI証券、野村証券、SMBCフレンド証券、岡三証券、マネックス証券、エイチ・エス証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
12年9月期(実績)	4,361	6.6	438	59.2	230	52.0	149.6	45.0
13年9月期(実績見込)	4,720	—	649	—	369	—	240.2	72.0
14年9月期(会社予想)	5,385	14.1	637	▲1.8	375	1.6	198.4	60.0

※ 13年9月期から連結決算

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
11年9月期	1,540,000	2,039	854	312	555.1	41.9	19.2
12年9月期	1,540,000	2,217	1,031	312	670.1	46.5	24.4

大株主上位 (上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	進 勝博	374,400	24.31
2	日本空港サービス	350,000	22.73
3	ABIST社員持株会	116,300	7.55
4	NIFSMBC-V2006S3投資事業有限責任組合	94,400	6.13
5	三菱UFJキャピタル2号投資事業有限責任組合	66,600	4.32
6	ニッセイ・キャピタル3号投資事業有限責任組合	65,000	4.22
7	大宅 清文	50,000	3.25
7	進 絢子	50,000	3.25
7	日本生命保険相互会社	50,000	3.25
10	小林 秀樹	46,000	2.99

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	進 勝博
専務取締役 経営推進部門長	柴山 憲司
専務取締役 経営管理部門長	島村 恒基
取締役	久留島 秀彦
常勤監査役	大宅 清文
監査役	丸山 聡史
監査役	三澤 貞一

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載していません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会